

この号の内容

1. 「先輩の就職体験談を聞こう！」を開催しました
2. 京都大学キャリアサポートセンターを訪問しました
3. Kyoto iUP 生がインターシップに参加しました
4. 日本語春期講習の文化体験で体育祭を開催しました
5. 2025 年度京都大学卒業式に出席しました
6. 2025 年度卒業セレモニーを開催しました
7. 2025 年 10 月生の予備教育課程修了式を開催しました
8. 2026 年度京都大学入学式に出席しました
9. Kyoto iUP 生全体交流会を開催しました
10. 2026 年 10 月生選抜審査を終了しました
11. 岡山大学による日本留学プロモーション動画の制作に協力しました
12. 卒業生インタビュー動画「Kyoto iUP Alumni Interview」のご紹介

1. 「先輩の就職体験談を聞こう！」を開催しました

2026 年 2 月 4 日に、就職先が決まった 4 回生を囲む「先輩の就職体験談を聞こう！」を開催しました。当日は、就職活動を終えた先輩学生 3 名と、進路を検討中の後輩学生 10 名の計 13 名が参加しました。

これまで Kyoto iUP 生を対象に実施した進路希望調査では、「日本での就職活動が不安」「相談できる先輩がほしい」といった悩みが寄せられていたほか、進路が決まった学生からも「自分が就職活動を始めたとき、やるべきことや準備が分からず苦労した」という声が挙がっていました。そこで、就職活動を終えた 4 回生をスピーカーに迎え、体験談を聞く機会として本イベントを企画・実施しました。

先輩学生からは、自身の就職活動スケジュールや、自己分析・面接対策のコツ、後輩学生へのアドバイスなどが語られ、後輩学生は真剣なまなざしで耳を傾けていました。終始なごやかでアットホームな雰囲気に包まれ、学年を超えて交流できる大変実りある時間となりました。



就職体験談の様子



就職体験談を共有する先輩学生



会場の様子



2. 京都大学キャリアサポートセンターを訪問しました

Kyoto iUP では、日本での就職を希望する留学生を支援する取り組みとして、Kyoto iUP 生が京都大学キャリアサポートセンターを訪問する機会を毎年設けています。2025 年度は 2 月 5 日に 1 回生と 2 回生 6 名が同センターを訪問し、日本の就職活動のスケジュールや、希望進路を絞り込むうえで不可欠な「自己分析」「業界研究」といったステップについて、キャリアカウンセラーから詳しい説明を受けました。質疑応答では様々な質問があがり、特に関心を集めたのは、就職における「学部卒」と「大学院卒」の違いについてでした。Kyoto iUP 生は、自身のキャリア形成を見据えながら熱心に説明を聞いており、学内で手厚いサポートが受けられると知って安心した様子も見られました。

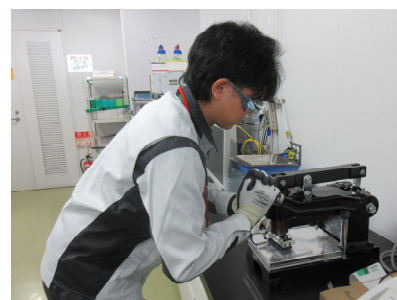
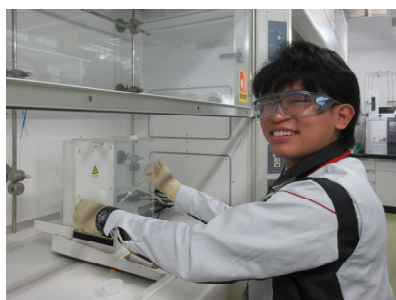


キャリアカウンセラーの説明を聞く Kyoto iUP 生

3. Kyoto iUP 生がインターンシップに参加しました

株式会社日本触媒様にご協力いただき、2 月 16 日から 20 日までの 5 日間、コーポレート研究本部研究センターで Kyoto iUP 生 1 名のインターンシップを受け入れていただきました。貴重な機会を与えてくださった皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

「機能性モノマーの合成と特性評価」というテーマで、研究員のご指導のもと、機能性モノマー「AOMA」の誘導体合成から解析や物性評価まで一連のプロセスを実践しました。インターンシップを通じて、研究を工業スケールへ展開する過程や大量生産を見据えた工夫、そして物性を正確に評価することの重要性を深く学びました。この経験を活かして、今後も大学での学びを深め、未来の日本社会を支える存在として大きく成長してくれることを期待しています。



インターンシップの様子

4. 日本語春期講習の文化体験で体育祭を開催しました

Kyoto iUP では、日本語夏期・春期講習の一環として、日本文化を学ぶ「文化体験」を実施しています。2025 年度の春期講習では、「日本のアニメによく出てくる体育祭を体験してみたい」という Kyoto iUP 生からの提案をきっかけに、3 月 19 日に京都市男女共同参画センターウィングス京都で体育祭を開催しました。

当日は、参加者が 4 つのグループに分かれて、日本の運動会や体育祭で定番となっている玉入れや綱引き、リレー等の競技に挑戦しました。学生はもちろん、教員も競技に加わり、会場全体が一体となって大いに盛り上がりました。

今回の体育祭は、3 名の Kyoto iUP 生が教員と協働で企画・実施し、日本人学生にもボランティアとして進行をサポートしてもらいました。日本人学生と Kyoto iUP 生が運動を通して交流するイベントは今回が初めてでしたが、参加者同士で日本語や英語を用いた自然な交流が生まれ、語学の実践的な練習の場としても非常に有意義な機会となりました。今後もこのような活動を通して、学生の主体性を育てていきたいと考えています。



競技を楽しむ Kyoto iUP 生



集合写真

5. 2025 年度京都大学卒業式に出席しました

3 月 23 日に京都市勧業館みやこめっせで 2025 年度京都大学卒業式が挙行されました。2025 年度は 2,765 名が学部課程を修了し、Kyoto iUP の卒業生たちも母国の伝統衣装を身にまとい、学部学科や Kyoto iUP の友人とともに式に臨みました。式典終了後は、家族や友人や後輩学生と百周年時計台記念館前で記念写真を撮ったり、各学部学科で行われるイベントに参加したりして、特別な一日を過ごしました。



笑顔の卒業生

6. 2025 年度卒業セレモニーを開催しました

3 月 25 日に、Kyoto iUP 生の卒業を祝うセレモニーを開催しました。國府寛司理事・副学長（教育・学生・入試担当）による挨拶、大嶋正裕国際高等教育院長による祝辞の後、卒業生が一人ずつ日本語でスピーチを行いました。続いて、教職員一同からのお祝いとして、Kyoto iUP のロゴ入りタンブラーと花束が卒業生へ贈呈されました。その後、後輩学生を代表して Kyoto iUP 生 2 名から送辞が述べられ、最後は堤誉志雄 Kyoto iUP プログラムマネージャーからの祝福のメッセージでセレモニーが締め括られました。

卒業後の進路は、大学院への進学、日本での就職、母国での就職など様々ですが、Kyoto iUP の卒業生が、京都大学で学んだことや経験を生かし、母国と日本との架け橋となってくれることを願っています。



卒業生のスピーチ



記念品贈呈



教員との記念撮影



2025 年度卒業生集合写真

7. 2025 年 10 月生の予備教育課程修了式を開催しました

3 月 31 日に 2025 年 10 月生の予備教育課程修了式を開催し、32 名の予備教育履修生が出席しました。國府理事・副学長（教育・学生・入試担当）の祝辞、大嶋国際高等教育院長による修了証書授与に続いて、予備教育履修生を代表して 7 名が日本語レベル別にスピーチを行い、これまでのサポートへの感謝や今後の抱負を述べました。最後に、堤 Kyoto iUP プログラムマネージャーより、これから大学生活を始める Kyoto iUP 生へ向けて温かい励ましの言葉が贈られました。



2025 年 10 月生集合写真



修了証書授与と代表学生によるスピーチ

8. 2026 年度京都大学入学式に出席しました

4 月 7 日に京都市勧業館みやこめっせで 2026 年度京都大学学部入学式が挙行されました。3 月に予備教育課程を修了し、学部入学のための試験に合格した Kyoto iUP 生 32 名も、新 1 回生として入学式に出席しました。Kyoto iUP 生は厳粛な雰囲気に対し少し緊張した面持ちでしたが、式典終了後は、お祝いに駆けつけた先輩学生や同級生と笑顔で記念撮影を楽しんでいました。



先輩学生や同級生とともに



集合写真

9. Kyoto iUP 生全体交流会を開催しました

7 月 9 日に、Kyoto iUP 生と吉田カレッジオフィスの教職員による交流会を開催し、卒業生を含む Kyoto iUP 生 86 名と教職員 19 名の計 105 名が参加しました。今回は Kyoto iUP 生 4 名が事前準備や当日の受付・司会進行を担当し、これまで以上に学生主体のイベントとなりました。

参加者はグループに分かれて、学生が持ち寄った飲み物や軽食を囲みながら、近況報告や進路相談など多岐にわたるテーマで歓談しました。普段は関わる機会の少ない教職員や学生と交流する好機となり、互いの経験や考えに耳を傾けながら、絆を深める貴重なひとときとなりました。



親睦を深める Kyoto iUP 生と教職員



Kyoto iUP ファミリー大集合！

10. 2026 年 10 月生選抜審査を終了しました

2026 年 10 月に予備教育課程へ入学する Kyoto iUP 生の選抜審査を 2025 年 12 月から 2026 年 3 月にかけて実施し、4 月 6 日に合格通知を発出しました。

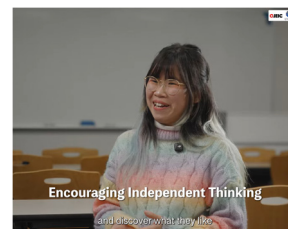
今回の選抜審査では、76 か国・地域から過去最多となる 1,174 名の出願があり、80 名が第 2 次選抜（面接審査）に進みました。選抜審査の結果、37 名に合格を通知しました。今回新たにウズベキスタン、トルコ、ネパール、モンテネグロから合格者を得ることができ、これまでに受け入れた Kyoto iUP 生の出身国・地域は 26 か国・地域となりました。今後も世界中から優秀な学生を迎えることができるよう、広報・リクルート活動に努めてまいります。

- 出願者数：1,174 名（76 か国・地域）
- 面接対象者数：80 名（17 か国・地域）
- 合格者数：37 名（14 か国・地域）
- 合格者の出身国・地域：

アメリカ、インドネシア、ウズベキスタン、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、トルコ、ネパール、フィリピン、ベトナム、モンゴル、モンテネグロ

11. 岡山大学による日本留学プロモーション動画の制作に協力しました

文部科学省「日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業（東南アジア地域）」の一環として、岡山大学日本留学情報センター（OJEIC）が ASEAN 地域の高校生向けに日本留学プロモーション動画を制作することとなり、ASEAN 地域での広報・リクルート活動において OJEIC と連携している Kyoto iUP も、京都大学での撮影に協力しました。



Kyoto iUP 生を代表して、2026 年 3 月に教育学部を卒業した Haw May Ann さんが動画に出演し、自立的な学びをはじめとする日本留学での経験を語るとともに、後輩たちへ「自分らしくあり、常に新しい学びに対してオープンであってほしい」というメッセージを寄せました。



完成した動画「Find your JAPAN! Study in Japan for ASEAN Students☆～!!!」は同事業の公式 YouTube チャンネル「Study in Japan for ASEAN」にて公開されていますので、ぜひご覧ください。Kyoto iUP では今後も国内外の様々な協力機関と連携し、世界中の高校生に向けた広報・リクルート活動を推進してまいります。

12. 卒業生インタビュー動画「Kyoto iUP Alumni Interview」のご紹介

Kyoto iUP では、京都大学を卒業した Kyoto iUP 生に学生生活の思い出や将来の夢などをインタビューした動画「Kyoto iUP Alumni Interview」を制作し、公式 YouTube で公開しています。現在は、2025 年 3 月に経済学部を卒業した Fauzan Abdul Hamid さんと、同年 3 月に法学部を卒業した Tsai Li-Chen（蔡立晨）さんのインタビュー動画を公開しており、近日中に、新たに 3 名の卒業生の動画も公開する予定です。卒業生は全編日本語で話しており、英語字幕もつけておりますので、国内外の様々な方に楽しんでいただける内容となっています。ぜひご覧ください。

なお、公式 YouTube では、卒業生インタビューのほか、予備教育課程修了式や卒業セレモニーなど、この Newsletter でご紹介した Kyoto iUP の行事の動画もご覧いただけます。また、Instagram でも情報発信をしておりますので、ぜひフォローしていただければ幸いです。



Fauzan Abdul Hamid さんのインタビュー動画



蔡立晨さんのインタビュー動画



Kyoto iUP Newsletter

発行 京都大学国際高等教育院吉田カレッジオフィス

連絡先 京都大学学務部留学生支援課吉田カレッジオフィス事務室

Email: yc-sokatsu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(＊を@に変えてください)



Kyoto iUP



Kyoto iUP



<https://www.iup.kyoto-u.ac.jp/>